



## CHAPTER 9

# Cisco Unity Connection 8.x での連絡先の管理

連絡先は、ボイス メッセージングなどの Cisco Unity Connection 機能にアクセスできないユーザのタイプです。連絡先は、別のシステム上にボイスメール アカウントがある社員や、ボイス メールボックスを必要としないが、Connection ユーザと頻繁に通信する顧客またはベンダーを表すことができます。詳細については、次の各項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 8.x での連絡先の使用方法」 (P.9-1)
- 「Cisco Unity Connection 8.x での連絡先テンプレートの作成、変更、および削除」 (P.9-2)
- 「Cisco Unity Connection 8.x での連絡先の作成、変更、および削除」 (P.9-3)
- 「Cisco Unity Connection 8.x での連絡先のユーザの別名の作成または変更」 (P.9-5)
- 「Cisco Unity Connection 8.x の SMTP プロキシアドレス」 (P.9-5)

## Cisco Unity Connection 8.x での連絡先の使用方法

システム上にメールボックスがないが、ユーザと通信する必要があるスタッフ、ベンダー、またはパートナーが存在する場合は、彼ら用の連絡先を作成することを推奨します。ユーザごとにセットアップする必要のあるユーザ定義連絡先と違って、管理者定義連絡先はすべてのユーザが使用できます。加えて、ユーザは、自分のパーソナル着信転送ルールと発信者グループに連絡先を追加したり、ボイス コマンドを使用して連絡先を呼び出したりすることができます。さらに、連絡先情報が変更された場合、それを更新するのは 1 カ所だけです。次の点に注意してください。

- **VPIM メッセージング**：管理者定義連絡先は VPIM メッセージング用に設定できます。この連絡先は、他の VPIM 互換ボイス メッセージング システム上のユーザを表します。連絡先が VPIM ユーザを表すようにセットアップされている場合、Connection ユーザは他のボイス メッセージング システム上の VPIM ユーザとメッセージを送受信できます。
- **ディレクトリ アクセス**：Cisco Unity Connection Administration で連絡先を作成し、それをディレクトリに表示可能にすれば、ユーザは Connection ディレクトリからその連絡先にアクセスできます。これによって、発信者は連絡先の内線番号に転送できます。
- **ネーム ダイヤリング アクセス**：ユーザは、連絡先の転送が有効になっているかぎり、ユーザ スピーチ認識カンパセーションを使用して簡単に連絡先に電話をかけることができます。
- **パーソナル着信転送ルール**：ユーザは、他のユーザ、管理者定義連絡先、およびユーザ定義連絡先をパーソナル着信転送ルールと発信者グループに追加できます。

# Cisco Unity Connection 8.x での連絡先テンプレートの作成、変更、および削除

Cisco Unity Connection で追加した各連絡先は、連絡先テンプレートに基づきます。テンプレートからの設定が、作成時に連絡先に適用されます。Connection には、変更可能な事前定義の連絡先テンプレートが付属しています。新しいテンプレートを作成することもできます。

Connection が複数のパーティションで定義されている場合、または VPIM ネットワーキング用に設定されている場合は、パーティションごと、または VPIM ロケーションごとに連絡先テンプレートを作成できます。

次の手順を参照してください。

- 「連絡先テンプレートを作成するには」 (P.9-2)
- 「連絡先テンプレートを変更するには」 (P.9-2)
- 「連絡先テンプレートを削除するには」 (P.9-3)

## 連絡先テンプレートを作成するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[テンプレート (Templates)] を展開してから、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3** [連絡先テンプレートの新規作成 (New Contact Template)] ページで、エイリアスと表示名を入力します。
- ステップ 4** 連絡先テンプレートを VPIM 連絡先に使用する場合は、[配信ロケーション (Delivery Location)] リストで、該当する配信ロケーションを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。
- 

## 連絡先テンプレートを変更するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[テンプレート (Templates)] を展開してから、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、変更する連絡先テンプレートの表示名を選択します。



**(注)** 変更する連絡先テンプレートが検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。

---

- ステップ 3** [連絡先テンプレートの基本設定の編集 (Edit Contact Template Basics)] ページで、必要に応じて、設定を変更します (フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。
- ステップ 4** [連絡先テンプレートの基本設定の編集 (Edit Contact Template Basics)] ページで設定の変更が完了したら、[保存 (Save)] を選択します。
-

### 連絡先テンプレートを削除するには

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[テンプレート (Templates)] を展開してから、[連絡先テンプレート (Contact Templates)] を選択します。
- ステップ 2 [連絡先テンプレートの検索 (Search Contact Templates)] ページで、削除する連絡先テンプレートの表示名の横にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3 [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 4 [OK] を選択します。

## Cisco Unity Connection 8.x での連絡先の作成、変更、および削除

連絡先テンプレートを作成したら、いつでも連絡先を手動で作成または変更することができます。次の手順を参照してください。

- 「連絡先を作成するには」(P.9-3)
- 「連絡先を変更するには」(P.9-4)
- 「一括編集モードで複数の連絡先を変更するには」(P.9-4)
- 「連絡先を削除するには」(P.9-5)



(注)

VPIM 連絡先の手動による作成、変更、および削除に加えて、着信 VPIM メッセージに含まれる情報に基づいて、VPIM 連絡先ディレクトリ内のレコードを自動的に更新するように Cisco Unity Connection を設定できます。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection* (Release 8.x) の「VPIM Networking in Cisco Unity Connection 8.x」の章にある「Customizing VPIM Contact Directory Update Settings」の項を参照してください。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/networking/guide/8xcucnetx.html) から入手可能です。

### 連絡先を作成するには

- ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2 [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 3 [連絡先の新規作成 (New Contact)] ページで、必要に応じて、設定を入力します。(フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。



(注) \* (アスタリスク) マークの付いたフィールドは必須です。

- ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 5 [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページで、連絡先の設定の入力を継続します (フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください)。

- ステップ 6** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページで設定の入力が完了したら、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 7** [編集 (Edit)] メニューで、次の関連ページのいずれか (またはすべて) を選択して、新しい連絡先への必要な設定の追加を続けます。
- ユーザの別名 (Alternate Names)
  - SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)

### 連絡先を変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、変更する連絡先のエイリアスを選択します。



**(注)** 変更する連絡先が検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** 必要に応じて、ページ上の設定を変更します。[連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページで設定の変更が完了したら、[保存 (Save)] を選択します。
- ステップ 4** [編集 (Edit)] メニューで、該当するページを選択して連絡先の設定の変更を続けます。これらのページで設定を変更した場合は、ページを移動する前に [保存 (Save)] を選択します。

### 一括編集モードで複数の連絡先を変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、該当する連絡先チェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- まとめて編集する連絡先が複数の検索ページに表示される場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにしてから、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにします。同様の操作を該当するすべてのチェックボックスを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- ステップ 3** 設定に変更を加えるには、フィールド名の左にあるチェックボックスをオンにして選択してから、通常どおりフィールドを設定します。(フィールド情報については、[ヘルプ (Help)] メニューで、[このページ (This Page)] を選択してください。)
- (注)** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページの最上部に表示されるステータスメッセージは、編集している連絡先アカウントの数を示しています。また、このページには一括モードで編集可能なフィールドだけが表示されています。
- ステップ 4** 必要に応じて、一括編集タスク スケジュール フィールドを設定して、後日または後で実行する一括編集処理のスケジュールを作成します。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] を選択します。

- ステップ 6** 該当する場合は、[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] ページで連絡先の設定の変更を続けます。「一括編集モードで連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定するには」(P.9-6) の手順を参照してください。

---

#### 連絡先を削除するには

---

- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、削除する連絡先のエイリアスの横にあるチェックボックスをオンにします。



(注) 削除する連絡先が検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。

- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ 4** 削除を確認するダイアログ ボックスが開くので [OK] を選択します。
- 

## Cisco Unity Connection 8.x での連絡先のユーザの別名の作成または変更

ユーザの別名は、社内ディレクトリに表示される名前とは異なるバージョンの名前です。Cisco Unity Connection では、発信者が音声認識を使用して電話をかけるときにこれらの名前が考慮されます。たとえば、発信者が Mary Brown の旧姓である「Mary Jameson」にダイヤルするように Connection に要求した場合は、Connection でこの情報が参照され、発信者がこのユーザに接続されます。ユーザまたは連絡先のユーザの別名の使用方法については、「Cisco Unity Connection 8.x のユーザの別名」(P.4-83) を参照してください。

## Cisco Unity Connection 8.x の SMTP プロキシアドレス

Cisco Unity Connection では、ユーザが IMAP クライアントから送信した SMTP メッセージの受信者を適切なユーザまたは VPIM 連絡先にマップするために、SMTP プロキシアドレスが使用されます。ユーザが IMAP クライアントを使用して Connection サーバ上の VPIM 連絡先にメッセージを送信、応答、または転送する場合は、ユーザが IMAP クライアントからその連絡先に宛先指定するために使用する SMTP アドレスを使用して各 VPIM 連絡先を設定する必要があります。



(注) VPIM ロケーションに関連付けられていない連絡先は、IMAP クライアントから Connection サーバ経由で送信された SMTP メッセージを受信できません。この種の連絡先がメッセージ受信者として含まれている場合は、[システム設定 (System Settings)] > [全般設定 (General Configuration)] > [受信者が見つからない場合 (When a Recipient Cannot Be Found)] 設定で選択されたオプションに従って、Connection でその受信者宛てのメッセージが処理されます。


---

ユーザが IMAP クライアントを使用して Connection サーバ経由でメッセージの送信、転送、または応答を行うことができるように Connection を設定する方法については、『*System Administration Guide for Cisco Unity Connection*』(Release 8.x) の「[Configuring IMAP Settings in Cisco Unity Connection 8.x](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html)」の章を参照してください。このドキュメントは、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/administration/guide/8xcucsagx.html) から入手可能です。

次の、該当する手順に従ってください。

- 「連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定するには」(P.9-6)
- 「一括編集モードで連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定するには」(P.9-6)

### 連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、該当する連絡先のエイリアスを選択します。
-  **(注)** 連絡先が検索結果表に表示されない場合は、ページの最上部にある検索フィールドで該当するパラメータを設定して、[検索 (Find)] を選択します。
- 
- ステップ 3** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューで、[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] を選択します。
- ステップ 4** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] ページで、[新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 5** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] 表の [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Address)] 列にアドレスを入力します。
- ステップ 6** 追加するアドレスごとに **ステップ 4** と **ステップ 5** を繰り返します。
- ステップ 7** アドレスの追加が完了したら、[保存 (Save)] を選択します。
- 

### 一括編集モードで連絡先の SMTP プロキシアドレスを設定するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection Administration で、[連絡先 (Contacts)] を選択します。
- ステップ 2** [連絡先の検索 (Search Contacts)] ページで、該当する連絡先チェックボックスをオンにして、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- まとめて編集する連絡先が複数の検索ページに表示される場合は、最初のページで該当するすべてのチェックボックスをオンにしてから、次のページに移動して該当するすべてのチェックボックスをオンにします。同様の操作を該当するすべてのチェックボックスを選択するまで繰り返します。次に、[一括編集 (Bulk Edit)] を選択します。
- ステップ 3** [連絡先の基本情報の編集 (Edit Contact Basics)] ページの [編集 (Edit)] メニューで、[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses)] を選択します。
- ステップ 4** 次のように、[SMTP プロキシアドレスを末尾に追加する (Append SMTP Proxy Addresses)] または [SMTP プロキシアドレスを上書きする (Override SMTP Proxy Addresses)] を選択します。
- SMTP プロキシアドレスを末尾に追加する (Append SMTP Proxy Addresses) : 連絡先に SMTP プロキシアドレスが設定されていないために、連絡先ごとに SMTP プロキシアドレスを追加する場合
  - SMTP プロキシアドレスを上書きする (Override SMTP Proxy Addresses) : 現在連絡先に設定されている SMTP プロキシアドレスを新しい SMTP プロキシアドレスに置き換える場合

- ステップ 5** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses) ] ページで、[ 新規追加 (Add New) ] を選択します。
- ステップ 6** [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Addresses) ] 表の [SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Address) ] 列にアドレスを入力します。次の置換可能なトークンのいずれかまたはすべてを使用して SMTP プロキシアドレスを構成できます。
- %FirstName%
  - %LastName%
  - %Alias%
  - %Extension%
- たとえば、[SMTP プロキシアドレス (SMTP Proxy Address) ] 列に %Alias%@company.com と入力した場合は、各連絡先の SMTP プロキシアドレスが連絡先のエイリアスの後ろに @company.com を付けて構成されます。
- ステップ 7** 追加するアドレスごとに **ステップ 5** と **ステップ 6** を繰り返します。
- ステップ 8** 必要に応じて、一括編集タスク スケジュール フィールドを設定して、後日または後で実行する一括編集処理のスケジュールを作成します。
- ステップ 9** [ 送信 (Submit) ] を選択します。
-

